観音沼森林公園

観音沼森林公園は、紅葉の名所として知られていますが、どの季節に訪れても楽しめる場所です。散歩や自然観察など、さまざまな楽しみ方ができるオアシスです。この公園は、観音沼という大きな水域を中心に広がっています。観音沼は鏡のような水をたたえ、周囲の木々や山々を映し出しています。観音沼の周りには1.2kmの遊歩道が整備されており、年齢や体力に関係なく楽しむことができます。観音沼の特徴である島々を一望できる展望台がいくつかあり、休憩用のベンチも点在しています。この他にも、周辺の森や湿原を巡る8つのコースが用意されています。

初春から晩夏にかけて、さまざまな植物や花を見ることができます。冬の最後の雪が解けた後、ミズバショウが芽を出し始めます。白いラッパ状の可憐な花は、英語の名前に反して、春の訪れを告げるものとして観光客に人気があります。その後、4月から5月にかけて、枝垂れ桜や八重桜など、さまざまな種類の桜が開花します。また、スイカズラ、ツツジ、アジサイなど、夏に向けてさまざまな花が咲きます。

岳観音堂は木彫りで有名な公園内の小さなお寺です。沼の名前の由来となったとされる観音様が祀られています。平安時代（794-1185）の武将、坂上田村麻呂（758-811）の命により、この地で戦死した人や馬を弔うために建てられたといわれています。